

第1回大分県新長期総合計画策定県民会議

元気部会

日時：令和5年9月6日(水) 11:10～12:10

場所：レンブラントホテル大分 2階 二豊の間B

No.	項目	発言要旨
1	変化1 視点1 論点① 女性 活躍	・女性活躍については国を挙げて何年も取り組んでいるが、なかなか進みにくい。様々な取組を継続して進めていかなければならない中で、大分県独自の進め方もあっていいのではないかと考えている。
2	変化1 視点1 論点④ 外国人	・福岡の韓国総領事から「なぜ大分には韓国人が多く住んでいるのに姉妹都市がないのか」と聞かれた。韓国から文化団体などが大分に来た際にも相談窓口がないという話も聞くので、まずは姉妹都市を締結することが日韓関係の構築には必要ではないか。
3	変化1 視点1 論点④ 外国人	・想定を上回るスピードで人口減少が進んでおり、中小企業は人手不足が深刻。外国人材を上手く受け入れるには、県民のマインドセットが重要。大分県にはAPUもあり、外国人を受け入れる環境に恵まれている。外国人と共に生活し、仕事をするという感覚、そのマインドセットを大分県として進めていくことが重要ではないか。
4	変化1 視点1 論点④ 外国人	・別府では外国人向けの観光や留学生の受入れの取組が活発である一方で、外国住民、とりわけ子どもに関する支援や取組が限定的。海外から住む場所を探す人にとっては子どもの教育環境の視点が重要。例えば、APUの小中学部やインターナショナルスクールを設置するなど、教育面から海外の人材を呼び込むような環境づくりに取り組んではどうか。
5	変化1 視点1 論点④ 外国人	・県内企業の競争力向上に向けては、円安の状況下を踏まえ、海外ビジネスに力を注いでいくことが大事。 ・県内の留学生に県内企業を選んでもらう取組も必要。例えば、県内企業との接点を増やすことや留学生が魅力を感じる外国企業を誘致することで、留学生が県内に定着しやすくなるのではないか。 ・外国企業が選んでくれるような地域になるためには、最低でも小中学生までのインターナショナルスクールが必要。
6	変化2 視点3 論点① 地域 づくり	・地域づくりには転職しなくても他の地域に居住できる環境づくりが重要と考え、シェアハウスやコワーキングスペースをつくってきた。その土地に住んでいる人の考え方や知恵などを共有でき、民泊よりも深い関係をつくれる「良質な関係人口」を増やしていきたい。
7	変化2 視点3 論点① 地域 づくり	・中山間地域が持続的に発展するためには、地域が生み出す商品の高付加価値化や地域の住民が誇りを持てるような取組が必要。魅力ある地域イベントの実施や若い人が田舎暮らしを喜ぶような地域をつくるような取組が重要ではないか。
8	変化3 視点1 論点④ カーボン ニュートラル	・J-クレジット制度については、森林所有者の資金面が安定するとともに、間伐や育林といった山の手入れがなされるため、持続可能な森林経営が可能となる。制度の詳細はこれから検討すべきこともあると思うが、是非進めてほしい。
9	変化3 視点1 論点④ カーボン ニュートラル	・ブルーカーボンについては、漁業者が個人で取り組むことは困難。企業が中心となり、魚が住み着く藻場を形成していくことで大きく前進すると思う。

第1回大分県新長期総合計画策定県民会議

元気部会

日時：令和5年9月6日(水) 11:10～12:10

場所：レンブラントホテル大分 2階 二豊の間B

No.	項目	発言要旨
10	変化4 視点2 論点① 観光	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで、内川選手の自主トレやラグビーWC2017のイングランド代表、2021の日本代表などを誘致したが、温泉や練習環境が多く選手に好評だった。大分の日本一の温泉という魅力を活かしたスポーツツーリズムを進めていきたい。 ・トップ選手を見るこどもの目は輝いている。スポーツツーリズムを進めることで、こどもの豊かな人間性を育むことにも繋がると思う。
11	変化4 視点2 論点② 芸術	<ul style="list-style-type: none"> ・大分県の発信力を強化するためには、県内の留学生を活用し、人が多く訪れる別府や湯布院以外の地域の魅力も発信してはどうか。秋田県のAIU（国際教養大学）では、留学生を活用した情報発信を積極的に行っている。 ・大分県には魅力的な伝統芸能が多くある。大分県のこどもたちが文化体験できるよう知事部局と教育委員会の枠を越えて取り組んでほしい。
12	変化4 視点2 論点③ スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもが将来の夢を想像するためにはトップレベルの選手を見ることが大事。私自身もそうだったが、地域のこどもが実際にプレーできる場所で見ること記憶にも残る。 ・野球選手の自主トレの場所は、天候に左右されず練習できる環境が必要。宮崎県ほどの球場にもサブグラウンドや室内練習場があるため、プロ野球のキャンプ地として選ばれている。トップレベルの選手を呼ぶにあたっては、施設面の更なる充実が必要ではないか。 ・今後スポーツ選手が活躍するためには、選手の治療やトレーニング、技術面のケアなどが一つの施設で完結する環境があればいいと思う。
13	変化5 視点1 論点② 産業振興・DX	<ul style="list-style-type: none"> ・各業界で人手不足が深刻化している。九州全体でも同じ傾向だが、熊本に人を取られてしまっている。解決策としてDXの取組、例えば福井県ではレステック（衛生データ）を活用して米づくりに取り組んでいる。大分県でも漁業、林業で活用されていると思うが、県内の優良企業や大学と連携をしながら取り組んでいくことが大事。
14	変化5 視点2 論点① デジタル活用	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアアップという点で、AIやプログラミングなどは中小企業ではなかなか学ぶことができない。行政などが学びの場を提供することも重要ではないか。 ・宇宙港に関して、宇宙からデータを受信し何のデータをどのような分野で活用することができるのか検討しておくことも必要ではないか。
15	変化5 視点2 論点② 農業	<ul style="list-style-type: none"> ・農業法人の廃業が増加している。一番の要因は人手不足。就職説明会によく行くが農業は選ばれない。農業はきついというイメージではなく儲かる職業だということを広く周知していきたい。